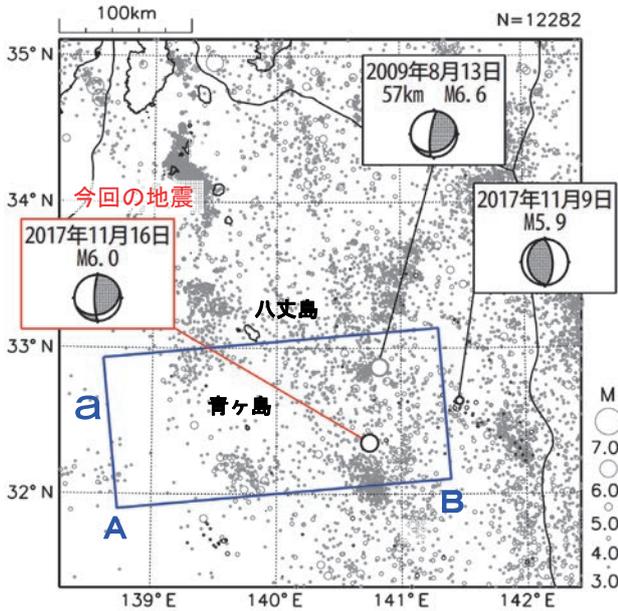


11 月 16 日 八丈島東方沖の地震

震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2017 年 11 月 30 日、
深さ 0～250km、 $M \geq 3.0$)
2017 年 11 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解

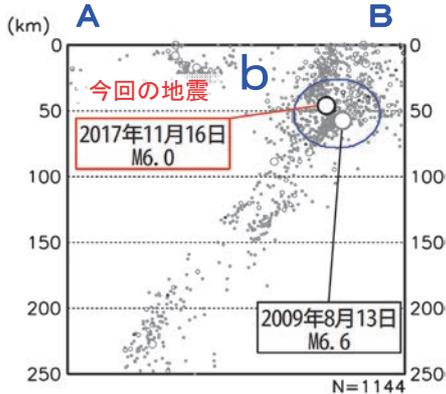


2017 年 11 月 16 日 18 時 43 分に八丈島東方沖で $M6.0$ の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。

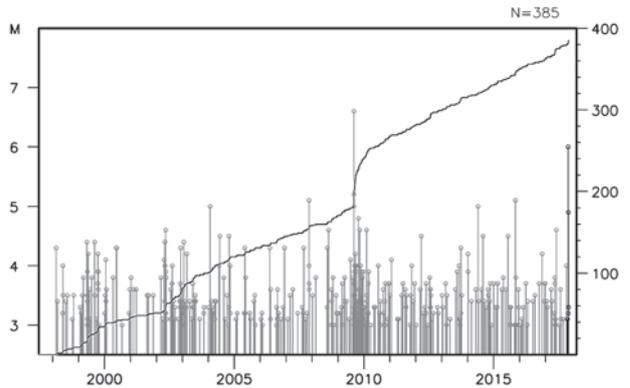
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、2009 年 8 月 13 日に $M6.6$ の地震 (最大震度 5 弱) の地震が発生している。この地震の発生後、 $M5.0$ 以上の地震が同日中に 2 回発生するなど、地震活動が一時的に活発化した。

1923 年以降の活動をみると、今回の震央付近 (領域 c) では、1972 年 2 月 29 日に $M7.0$ の地震 (最大震度 5) が発生し、千葉県館山市布良で最大 23cm の高さの津波が観測された。また、1972 年 12 月 4 日に $M7.2$ の地震 (最大震度 6、「1972 年 12 月 4 日八丈島東方沖地震」) が発生し、和歌山県串本町袋港で最大 35cm の高さの津波が観測された。(津波の高さは、験震時報 (第 38 巻) による)

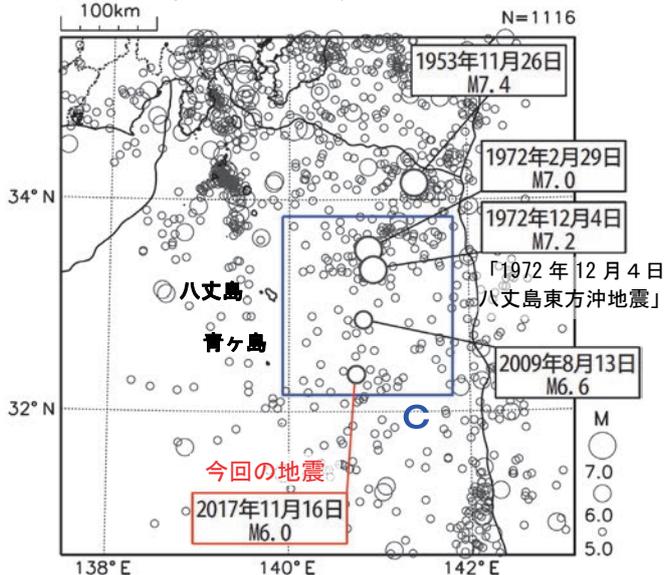
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 11 月 30 日、
深さ 0～250km、 $M \geq 5.0$)



領域 c 内の M-T 図

